



Kimura Eye & Int Med Hospital

ひかりいっぱい新聞

内科に糖尿病の専門医 久保 敬二医師が着任
友剛医師が新しい斜視手術法を日本眼科手術学会で講演
木村 徹 理事長退任 後任には杉浦副理事長が就任
スマホが関係!? 10代の急性内斜視が増加



内科に糖尿病の専門医 久保 敬二医師が着任

本年4月より木村眼科内科病院に内科部長として着任致しました「久保敬二」と申します。

私は昭和54年に愛媛大学医学部を卒業し、その後は広島大学医学部附属病院、厚生連広島総合病院などで内科医(専門は糖尿病)として研鑽を積みました。平成3年には糖尿病学会専門医の資格を取得し、平成8年からは県立広島病院に赴任しました。県立広島病院では23年間にわたり最先端の内科診療・糖尿病診療に携わり、平成26年には内科学会総合内科専門医の資格を取得しました。

眼科疾患の中には内科疾患から発生する病気も多く、手術を受ける患者さんも内科疾患を併発している場合が多くなっています。眼科手術を受ける際には手術前後の内科的管理が重要となります。安心して手術が受けられるよう、これまでの経験を生かして、内科的サポートを行っていきたいと思います。

内科部長 久保 敬二 医師
専門:糖尿病、内分泌内科
前職:県立広島病院
糖尿病・内分泌内科 主任部長
日本内科学会総合内科専門医
糖尿病学会専門医

友剛医師が新しい斜視手術法を 日本眼科手術学会で講演



本年2月1日から3日にパシフィコ横浜で開催された第42回日本眼科手術学会学術総会の教育セミナーで、新しい斜視手術についての講演を行いました。

この学会は日本の眼科手術の進歩向上のためのものですが、そうした場で教育講演を担当させていただくことは若輩の私にとっては大変名誉であり有り難く思っております。

当院では6年前から新しい斜視手術に取り組んでおります。3年前、この新しい術式が従来から広く用いられている術式と比べて術後成績が優れていることを全国的な斜視の学会で発表をしました。その際には幸運なことに若手支援プロ

グラム賞を受賞いたしました。さらに2年前に英文眼科学術誌に投稿させていただき、この術式が周囲からもよい方法であることが認められたため、今回の全国学会でさらに解説させていただくことになったようです。

先日、岡山で開催された斜視の研究会に参加した際、手術学会の講演の時に座長をして下さった川崎医科大学眼科学1教室教授 三木 淳司 先生とお話をさせていただいた折にも「私のところでも(その手術を)やり始めているよ。」と激励していただきました。

当院で行った最先端の手術が全国に広まり、より多くの患者さんのお役に立てることができれば大変嬉しいことです。今後も、より良い治療を追求し診療にあたってまいりますので、よろしく願いいたします。

副院長 木村 友剛



三木教授(左)と三海研究会会場にて

Jpn J Ophthalmol (2017) 61:286–291
DOI 10.1007/s10384-017-0501-5

THE OFFICIAL INTERNATIONAL
JOURNAL OF THE JAPANESE
OPHTHALMOLOGICAL SOCIETY

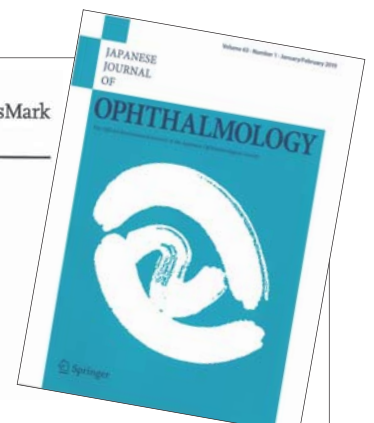


CrossMark

CLINICAL INVESTIGATION

Comparative study of plication–recession versus resection–recession in unilateral surgery for intermittent exotropia

Yugo Kimura¹ · Tohru Kimura¹



Japanese Journal of Ophthalmologyに掲載された論文タイトル

木村 徹 理事長退任 後任には杉浦副理事長が就任



医療法人社団ひかり会は昭和54(1979)年、初代理事長 故 木村 繁 医師によって設立されました。

木村 徹 医師は昭和57(1982)年9月に二代目理事長に就任し、以後長きにわたり法人代表者として経営を担ってまいりました。三兄弟の結束のもと旧病院(呉市中通2丁目)の建設から始まり、新病院の新築移転を成し遂げました。

医師としては、神経眼科、斜視の専門家として幅広く診療に打ち込み、京大の非常勤講師、広大の客員教授など教育面、研究面でも活躍を続けてまいりました。

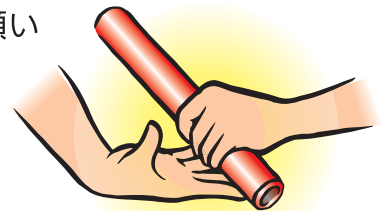
この度、病院の更なる発展を願って、3月31日付をもって退任。後任には4月1日付で杉浦 正信 副理事長が理事長に就任致しました。

木村 徹 医師

日々の診療に追われている内にいつの間にか馬齢を重ね40年、今日を迎えることになりました。至らぬことが多く身体的にも充分でなかった私がよくここまで・・・本当に有難く感謝の気持ちでいっぱいです。これまで多くの患者様を診させて頂き、医者冥利に尽き、疲れた顔に「先生頑張って下さい」などと励まされ、支えて下さった皆様のお蔭と改めて厚く厚く御礼申し上げる次第でございます。

これからも一人の医者として少し余裕を持って働かせて頂くことができれば これ以上の幸せはありません。

小院に対し引き続き温かいご指導とご鞭撻のほど何卒よろしくよろしくお願い申し上げます。



新理事長 杉浦 正信

この度、理事長を拝命致しました 杉浦 正信と申します。

私は、当地呉で生まれ、原小学校、東畑中学校、呉宮原高等学校を卒業し、大学を卒業後の昭和51年に広島銀行広支店に勤務し、昭和60年までの9年間、呉地区に勤務しておりました。

広島銀行で監査部長を歴任後、平成25年7月、28年ぶりに私のふるさとしてある呉の当院に監事としてお世話になり、財務部門を中心に病院経営に携り、昨年からは副理事長として理事長を補佐して参りました。

今後におきましても微力ではございますが、当院が医療を通して「地域社会の幸福」に貢献できますよう努めて参る所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

スマホが関係!?! 10代の急性内斜視が増加

スマートフォン(以下、スマホ)などの普及にともない、今10代の若者や子ども達の目に異変が起きています。それは黒目が内側に寄って戻らなくなる「急性内斜視」です。

国立成育医療研究センターは子どもの急性内斜視について研究していて「スマホなどの過剰使用により、斜視の発症や悪化を招く可能性がある」という論文を昨年発表しました。また浜松医科大学でも年間2~3名だった急性内斜視の患者さんが、ここ数年10代を中心に10人前後に増加しているそうです。

これらの報告を受け日本弱視斜視学会と日本小児眼科学会が連携して、

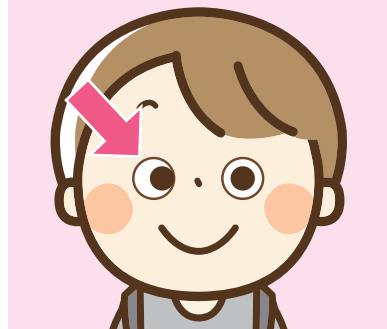


全国の眼科医およ

そ1,000人の協力のもと、急性内斜視と診断された子どもが長時間スマホやタブレット端末を使用していたのかなどの実態調査を行っており、当院でもその調査に協力しています。

調査は長期的に経過を報告し、学会ではその調査報告からスマホなどの使用頻度を減らすことで斜視の改善につながるかなど因果関係や効果的な治療法を研究するとともに、スマホなどの適切な使い方についても示していきたいとのことです。

正面を見ても黒目が
鼻側に寄っている



斜視とは

物を見ようとする時に、片目は正面を向いていても、もう片方の目が違う方向を向いていて、両目の視線が正しく目標に合致していない状態のことを言います。斜視の原因には、目を動かす筋肉や神経の異常によるものや遠視、目の病気、脳や全身の病気に伴うものなどがあります。

こんな症状があれば要注意!

- ・ 視線のずれ
- ・ 物が2つに見える
- ・ 片目つぶりをする
- ・ 頭をかしげたり顔を曲げている
- ・ 顎を上げている

このような症状がみられたら早めに眼科受診をしましょう。



医療法人社団ひかり会

木村眼科内科病院

〒737-0029 広島県呉市宝町3-15

TEL:0823-22-5544[代表]

0823-21-1000[病棟専用・夜間・休日]

FAX:0823-25-9010

<http://www.kimura-eye.or.jp/>

医療法人社団ひかり会

焼山木村眼科

〒737-0935 広島県呉市焼山中央1丁目10-9

TEL:0823-33-8259

FAX:0823-33-8279

木村眼科

検索 できます。